

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：土木費 項：住宅費 目：住宅建設費

事業名 県営住宅解体事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

都市建築部 住宅課 公営住宅係 電話番号：058-272-1111(内4835)

E-mail：c11659@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 161,756 千円 (前年度予算額：5,540 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,540	2,493	0	0	0	0	0	0	3,047
要求額	161,756	72,788	0	0	0	0	0	88,900	68
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

平成28年度の住生活基本計画の見直しに伴い、必要に応じて住棟の縮小・集約を検討していく方針が示されたことを受け、県営赤保木住宅において令和元年度、県営住宅縮小化事業によりA2棟の住民の移転を実施した。

その後、空き住棟、空き部屋、敷地の利活用に関して県及び所在地へ行った照会において、実現可能な活用案はなかったが、A2棟以外の残りの赤保木住宅の住戸数72戸に対して駐車台数が28台分であり、住民アンケートにおいても駐車場整備の要望が多く、施設所管課としても駐車場不足を認識していたため駐車場整備を行うこととした。令和4年度に建物の解体及び駐車場整備の設計委託を実施した。

宮代住宅1棟(40戸)、泉北住宅1棟(30戸)、旭ヶ丘住宅1棟(24戸)、加野住宅4棟(各30戸)、荒崎住宅1棟(40戸)、尾崎住宅6棟(各30戸)の活用手法については、実現可能な活用案がない住棟は、速やかに解体する。

(2) 事業内容

・県営住宅空き住棟の赤保木住宅1棟(24戸)解体に係る設計委託をR4年度に実施し、R5年度から解体工事を行う。土地の利活用が決定している赤保木住宅解体跡地については、R6年度に住民が利用する駐車場として整備する。

・宮代住宅1棟(40戸)、泉北住宅1棟(30戸)、旭ヶ丘住宅1棟(24戸)、加野住宅4棟(各30戸)荒崎住宅1棟(40戸)及び尾崎住宅6棟(各30戸)については、実現可能な活用案が無かったため、R5年度に解体設計委託を行い、R6年度、R7年度に住棟の解体工事を実施する。

(3) 県負担・補助率の考え方

R3.4.1公営住宅等整備事業対象要綱改正により

- ①公営住宅の将来的な需要増が見込めず、長寿命化計画等で総管理戸数の削減を位置付けている場合であって
- ②地方公共団体が居住者に対して移転の働きかけを行い
- ③現在の居住者が既存の公営住宅やSN住宅に移転することにより、早期に除却を行う場合については、公営住宅の除却費が補助対象（補助率45/100）となり県負担が軽減されることになった。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	48,057	設計委託費、工事監理費
工事請負費	113,699	解体工事費
合計	161,756	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「岐阜県公営住宅等長寿命化計画」において、県営住宅縮小化事業の移転により空き住棟となった赤保木住宅1棟（24戸）、宮代住宅1棟（40戸）、泉北住宅1棟（30戸）、旭ヶ丘住宅1棟（24戸）、加野住宅4棟（各30戸）、荒崎住宅1棟（40戸）、尾崎住宅6棟（各30戸）の活用手法については、実現可能な利活用案がない住棟は速やかに解体する。

(2) 後年度の財政負担

赤保木住宅

R4	設計委託費	：	5,540千円	（補助率45/100 国費	2,493千円）	※委託済
R5	工事監理費	：	2,853千円	（補助率45/100 国費	1,283千円）	
R5	解体工事費	：	113,699千円	（補助率45/100 国費	51,164千円）	
R6	駐車場整備費	：	10,058千円	（補助率45/100 国費	4,526千円）	（※ ₁ ）
	事業費	：	132,150千円	（国費59,466千円）		

宮代住宅、泉北住宅、旭ヶ丘住宅、加野住宅、荒崎住宅、尾崎住宅

R5	設計委託費	：	45,204千円	（補助率45/100 国費	20,341千円）	
R6	工事監理費	：	11,586千円	（補助率45/100 国費	5,213千円）	
R6	解体工事費	：	1,009,614千円	（補助率45/100 国費	454,326千円）	
R6	設計委託費	：	40,397千円	（補助率45/100 国費	18,178千円）	
R7	工事監理費	：	6,055千円	（補助率45/100 国費	2,724千円）	
R7	解体工事費	：	1,035,532千円	（補助率45/100 国費	465,989千円）	
	事業費	：	2,148,388千円	（国費	966,771千円）	

総事業費 　　　　　： 2,280,538千円（国費1,026,237千円）

※₁ 駐車場整備費：国費補助対象（補助率45/100）

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・赤保木住宅1棟（24戸）については、R 5年度に県営住宅空き住棟の解体工事を実施し、R 6年度は住宅解体跡地を住民が利用する駐車場として整備する。
- ・解体設計については、R 5年度に宮代住宅1棟（40戸）、泉北住宅1棟（30戸）、旭ヶ丘住宅1棟（24戸）及び加野住宅4棟（各30戸）の7棟の設計を行い、R 6年度は、荒崎住宅1棟（40戸）、尾崎住宅6棟（各30戸）の7棟の設計を実施する。
- ・解体工事については、R 6年度に宮代住宅1棟、旭ヶ丘住宅1棟、泉北住宅1棟、加野住宅4棟の解体を行い、R 7年度は荒崎住宅1棟、尾崎住宅6棟の解体工事を行いR 7年度までに合計15棟の解体工事を完了する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

定性的な効果を目的とする事業であり、定量的な指標の設定は困難。

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和 4 年度	令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

- ・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)
3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない

(評価)

- ・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)
3 : 期待以上の成果あり
2 : 期待どおりの成果あり
1 : 期待どおりの成果が得られていない
0 : ほとんど成果が得られていない

(評価)

- ・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか)
2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている

(評価)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

- ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント
又は事業名及び所管課
組み合わせる理由
や期待する効果 など

【〇〇課】